

平成18年度の収支決算まとめ 赤字幅は小幅縮小

去る7月3日開催の第157回組合において、平成18年度の収入・支出決算が承認されましたので、そのあらましをお知らせいたします。

平成18年度の経常収支赤字は17億円を超えましたが、17年度比では、約4億円赤字幅が減少しました。これは、診療報酬改定等により保険給付費が減少したことによるものです。

支出の内容をみると、保険給付費は17年度比15億円減の241億2000万円、保険料収入に占める割合は57.9%です。主として医療機関に支払われる医療費は、17年度比2.1%減の198億6400万円でした。一方、病気やケガによる休業者に給付する傷病手当金は22.0%増と15年度以降高い伸びが続いています。引き続き保険給付費の削減が、今後の健保財政安定化の鍵となっています。

19年度は、医療費および拠出金の増加により、赤字は16億円の見込みです。当健保組合としては、18年度から保険料率の段階的改定を行うなど財政健全化施策を実施していますが、事業主とも連携し、さらに効果的な疾病予防事業の展開や医療費適正化への取り

組みを推進する所存ですので、皆さまの更なるご理解・ご協力をお願いいたします（18年度の医療費動向は8ページ参照）。

財政健全化に向け、18年度は次の事業に重点をおいて取り組みました。

① 給付金の回収

第三者行為の傷害事故による立替え給付金の回収、資格喪失後受診等による返還金、傷病手当金支給の適正審査で計6189万円を回収しました。

② 医療費支払いの適正化

資格点検、診療内容点検、柔道整復施術内容点検で計9568万円の支払いを節減しました。

③ 疾病予防

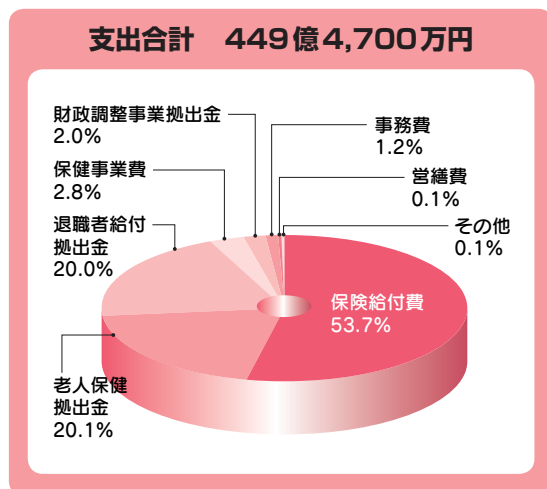
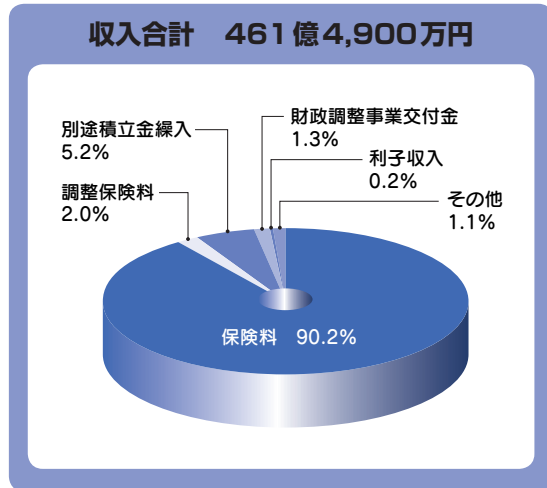
↳ 各種健診・セミナーの実施

人間ドック、婦人健診を計5240人が受診しました。冬季にインフルエンザの流行が予想されたことにより、3万4032人が予防接種を受けました。17年度から生活習慣病一次予防対策として「血液サラサラセミナー」を開催、3317人が参加しました。

④ 老人医療費の縮減対策

高齢者612人に訪問指導を実施しました。

■ 収支の割合



■ 一般勘定

《収入》

科目	総額(百万円)	17年度比(%)	被保険者1人当たり(円)
保険料	41,636	98.9	383,424
調整保険料	919	99.4	8,463
別途積立金繰入	2,400	88.9	22,101
財政調整事業交付金	570	92.7	5,247
利子収入	108	109.1	994
その他	516	62.0	4,749
総合収入合計	46,149	97.6	424,978
経常収入計	42,250	96.1	389,075

《支出》

科目	総額(百万円)	17年度比(%)	被保険者1人当たり(円)
保険給付費	24,120	94.1	222,118
老人保健拠出金	9,042	98.4	83,269
退職者給付拠出金	8,999	114.7	82,871
保健事業費	1,236	67.7	11,380
財政調整事業拠出金	914	100.1	8,413
事務費	541	91.4	4,983
営繕費	67	176.3	620
その他	28	56.0	256
総合支出合計	44,947	97.5	413,910
経常支出計	43,966	97.4	404,874

経常収支残(赤字) ▲17億1,600万円

■ 介護勘定

《収入》

科目	総額(百万円)
介護保険料	3,828
繰越金	100
その他	2
収入合計	3,930

《支出》

科目	総額(百万円)
介護納付金	3,780
還付金	2
支出合計	3,782